

わくわく にしこおり

令和 4年 3月 16日
富田林市立錦郡幼稚園
園長室 NO. 68

最近の様子 ～ 修了式練習 地震対応避難訓練 子どもたちどうしの引継ぎ～

↓ 満開のサクラランボをバックに記念写真

毎日少しずつ修了式の練習を行っています。昨日からは途中で「お祝いのことば」を担当するはな組も入って合同で行っています。修了証書の受け取り、「お別れのことば」など、ずい分立派にできるようになってきています。緊張感漂う中にも、宮田先生作の「思い出の映像」を観て、思わず微笑んでしまう場面もあって、和気あいあいムードで楽しく練習しています。私は、入園時からの映像を観て、2年間の成長ぶりに感動を覚えています。乞うご期待です。楽しみにしておいてください。

11日には、大きな地震が発生したとの設定で避難訓練を行いました。今回は、30年以内には大きな地震が起こると言われていること、夜中発生の地震に備える（懐中電灯、固めのスリッパや靴など）こと、避難したら、担当の人の話や指示をしっかりと聞いて動くことなどを分かるように説明しました。また、避難グッズがまとめて入っているバッグの中味（30品目）なども並べて見てもらいました。有事に備えることは、「より良く生きていくため」にとっても大切なことだと再度確認しました。続けて、3学期始業式の式辞の中で挙げた3つの目標：あいさつをしっかりとしよう！ おれいをしっかりと言おう！ なかよくあそぼう！ がしっかりとできていることを褒めました。特に、朝の元気ある挨拶は素晴らしいと伝えました。子どもたちはとっても嬉しそうに話を聞いておりました。「ありがとう！」の声もあちらこちらで聞くことができるようになっています。巣立っていくそら組のみんなから、はな組への「引継ぎ」も行われています。冬眠から目覚めた「カメ子」の世話、クローバーで覆い尽くされることを予防する新芽の抜き取りなど、ピオトープの管理についても合同で行いながら伝えていっております。嬉しく感じながら見守っています。取り立てた「予行」は行っていませんが、毎日少しずつ練習を進めていっています。緊張感の中に和やかさも混在！といった感じです。



地震対応避難訓練 持出し災害用備品も紹介 この日は8人がゆったりクラブ 賑やかです。そら・はな組合同でドッジボール 真剣！



そら組からはな組への引継ぎ 左：カメ子の世話、↓川に生え過ぎてしまうクローバーの新芽を抜いています。はな組に伝授です。

